

# 環境への取組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

## ■環境経営基本方針

### 「グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上」

#### —— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協同

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

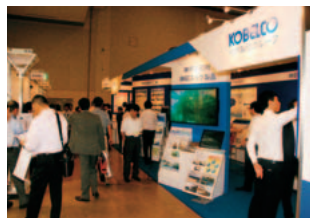
## ■「国際フロンティア産業メッセ2013」に出展

「BE COOL・BE SMART 兵庫・神戸から広がるエコものづくり」をテーマとして、2013年9月5日(木)・6日(金)に、神戸国際展示場で開催されました「国際フロンティア産業メッセ2013」に神戸製鋼グループも20を超えるメニューを出展しました。

今回も来場者の関心を引くとともに、多くの業界紙で取り上げられ、神戸製鋼グループの取組みを知っていただくことができました。

(主な出展製品等)

- ・エコメル、スラグ漁礁、移動電源車、フレア護岸、自動車軽量化技術、エコキューオン、森林整備活動、森の童話大賞 等



展示ブースの様子

## ■「フレア護岸」が全建賞を受賞

波浪時の道路護岸の越波対策のため、社のオンリーワン製品である「フレア護岸」は全国で採用が進んでいます。その機能が評価され、国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所、当社、(株)千代田コンサルタントが、このたび国道10号別大拡幅事業で、一般社団法人 全日本建設技術協会が主催する「全建賞」を受賞いたしました。

なお、授賞式は6月28日(金)に東京都内で執り行なわれました。

フレア護岸は、従来の直立護岸に対して、緩やかな曲線の形状を持たせて「波返し」をさせる事で、越波を抑える事ができます。その結果、直立護岸よりも護岸高さを約6m低くしつつ、越波を抑えることを可能にしました。また、その他の特長として、景観性や生態系の保護、護岸上部の歩道などへの有効活用、などの利点があります。

当社は今後もフレア護岸の採用を通じ、高潮発生時における沿岸部地域の安全確保や環境保護に寄与してまいります。



賞状を手にするエンジニアリング事業部門 設置された「フレア護岸」  
・鉄構・砂防部の濱崎部長(右)



### 通常護岸とフレア護岸の違い



## ■「第1回 KOBELCO 森の童話大賞」

当社グループは従来から地域・行政の皆様からのニーズにお応えするため、従業員による実働・参画型の活動として森林整備活動(KOBELCOの森、ECOWAYの森)や神戸市が主催する「児童館出前エコ教室事業」に参画するとともに、地域に根ざしたNPO活動を支援してきました。

さらに、今年度からは、これらの活動を深化させる形で、「KOBELCO GREEN PROJECT」を創設し、そのシンボル事業として「KOBELCO森の童話大賞」をスタートさせました。

この事業は、全国の小学生、中学生、高校生から「森」をテーマにしたお話を募集し、審査を行います。金賞作品については、絵本作家による挿絵制作および絵本化を行い、兵庫県内の学校・公立図書館等に寄贈して環境啓発ツールとして活用していただく予定です。

森は様々な自然の恵みをもたらす重要な存在であり、次代を担う子供たちの心の中に、森を大切に思う気持ちを育てていくことが非常に大切な意味を持つという考えから今回の事業開始に至ったものです。

当社グループはこれからも、様々な活動を通じて地域社会への貢献を進めていきます。

審査結果発表:11月下旬  
表彰式:2014年1月26日(日)  
灘浜サイエンススクエア  
にて開催予定



## ラグビーを通じての活動

### 福島県にてラグビークリニックを開催

当社ラグビー部、神戸製鋼コベルコスティーラーズは、5月12日、福島県いわき市「ア・パーススタジアム」において、福島県内のラグビースクール生(小中学生合わせて約90名)を対象に、ラグビークリニックを開催しました。

各学年に分かれてパスやキック、ステップの練習やコンタクト練習などを行いました。

最後には、選手の30メートルを超えるロングパスやピンポイントキックを披露したほか、ラインアウトのリフティング体験を通じて、トップリーガーの技術を実感していただき、終始和やかな雰囲気の中、クリニックを終えました。



ラグビークリニックの様子

### 東日本大震災義援金に関するお知らせ

神戸製鋼コベルコスティーラーズは2012-2013シーズンのファンクラブ会員年会費の一部と、チームのオフィシャルパートナーであるキリンビバレッジ株式会社近畿圏地区本部のご協力により展開している「神戸製鋼コベルコスティーラーズ自動販売機」(現在53台設置)の設置先様売上金の一部、および昨シーズンの試合会場で実施した募金活動の合計1,128,486円を、東日本大震災義援金として寄贈いたしました。

神戸市中央区にある日本赤十字社 兵庫県支部で6月18日に行なわれた贈呈式には平尾誠二GM兼総監督が出席し、同支部 藤原雅人事務局長に対し目録を贈呈いたしました。

神戸製鋼コベルコスティーラーズはこれからも引き続き、被災地の皆様に少しでもお役に立てるよう、さまざまな支援活動を行なってまいりますと同時に、被災地の一日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。



贈呈式の様子